

スチュワードシップ・セミナーのご案内

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

「スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・

コードの導入で株主総会と対話はどう変わったのか？」

【日時】2016年7月19日（火）午後2：00～4：30（受付開始1：30）

【会場】日比谷図書文化館コンベンションホール（日比谷公園内）

【講師と演題】

ご挨拶：スチュワードシップ研究会 代表理事 木村祐基

I. 講演：「2016年株主総会の総括」

上田亮子氏 株式会社日本投資環境研究所 主任研究員

II. パネルディスカッション：

「スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コード
の導入で株主総会と対話はどう変わったのか？」

パネリスト：

北後健一郎氏 企業年金連合会 年金運用部 オルタナティブ投資担当部長
兼 コーポレートガバナンス担当部長

銭谷 美幸氏 第一生命保険株式会社 株式部
スチュワードシップ活動推進グループ 部長

蔵本 祐嗣氏 大和住銀投信投資顧問株式会社 責任投資オフィサー

永池 正孝氏 全国株懇連合会理事長
株式会社バンダイナムコホールディングス
コーポレートコミュニケーション室シニアアドバイザー

モデレーター：

上田亮子氏 株式会社日本投資環境研究所 主任研究員

【講師・パネリストのご紹介】

上田亮子（うえだ りょうこ）氏

株式会社日本投資環境研究所 主任研究員。横浜市立大学大学院修了。みずほ証券入社後、日本投資環境研究所に出向・転籍、現在に至る。2005年4月より明治学院大学非常勤講師。2009年9月より、International Corporate Governance Network（本部ロンドン）の株主責任委員会委員。2013年11月より金融庁金融研究センター特別研究員。2015年9月より金融庁「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」委員。政策研究博士。

北後健一郎（ほくご けんいちろう）氏

企業年金連合会 年金運用部 オルタナティブ投資担当部長 兼 コーポレートガバナンス担当部長。慶應義塾大学経済学部卒業後、住友銀行入社、米国コロンビア大学ビジネススクール留学を経て、ニューヨーク支店に15年間勤務。資本効率向上を大前提として、PE・HF・クレジット等各種投資、新ストラクチャーによる効率的なヘッジ、証券化等々や、特命事項を担当。最後は米州本部 CFO も経験し帰国。同行にてアセットマネジメント業務の国際戦略立案・実行をリード。2014年より現職。

銭谷美幸（ぜにや みゆき）氏

第一生命保険株式会社 株式部 部長 スチュワードシップ活動推進グループ担当。東京外国語大学卒業後、野村総合研究所入社。ジャーディン・フレミング投資顧問（現 J.P.モルガン・アセット・マネジメント）を経て、ヒュー・マネジメント・ジャパン株式会社入社、同社常務取締役を経て、西京銀行代表取締役副頭取就任。その後みずほ系 PE にて常勤顧問として TA を担当。2013年第一生命保険株式会社入社、現在に至る。

蔵本祐嗣（くらもと ゆうじ）氏

大和住銀投信投資顧問株式会社 責任投資オフィサー。東京大学経済学部卒業。同社のコーポレートガバナンス活動に永年携わる。経済産業省株主総会プロセスの電子化促進等に関する研究会の委員などを務める。公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員。

永池正孝（ながいけ まさたか）氏

全国株懇連合会理事長、東京株式懇話会会長。株式会社バンダイナムコホールディングス コーポレートコミュニケーション室 シニアアドバイザー。中央大学法学部卒業。1994年11月株式会社ナムコ入社。2005年の株式会社バンダイとの経営統合時に株式会社バンダイナムコホールディングスに転籍し現在に至る。企業法務を中心とする業務に長年従事し、経済産業省の株主総会のあり方検討分科会委員、株主総会プロセスの電子化促進等に関する研究会委員を務める。

申込み方法：

参加ご希望の方は、お名前、ご所属（会社名、部署、役職）、ご連絡先（電話番号およびメールアドレス）を明記のうえ、メールの件名に＜7/19 セミナー申込み＞と記入して、7月12日までに、info@stewardship.or.jp までお申し込みください。

受付が完了した方にはメールでお知らせします。そのメールが参加証となりますので、印刷して当日受付にご提出ください。定員に達した場合は、その旨を当会ホームページ（<http://www.stewardship.or.jp>）でお知らせし、お申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

なお、「事前のご質問」をお受けいたします。ご質問がある方は、参加お申込みのメールに「事前質問」として、ご記入ください。パネルディスカッションの中で、できるだけ回答させていただきたいと思っております。時間の制約などにより、全てのご質問にお答えできない場合は、ご了承ください。

参加費；1,000円（当日会場受付にてお支払いください）

スチュワードシップ研究会会員は無料

交通アクセス



*専用の駐車場はありません。日比谷公園地下駐車場をご利用ください。

スチュワードシップ研究会について

2014年2月に金融庁から公表された『日本版スチュワードシップ・コード』では、機関投資家が、投資先企業やその事業環境に関する深い理解に基づき、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、顧客・受益者の長期リターンの拡大を図ることが期待されています。機関投資家のスチュワードシップ活動は、議決権行使にとどまるものではなく、企業と「対話」を行うことを含めた幅広い活動を指すとされ、コードの原則7では、「機関投資家は、(中略)当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。」とされています。

本研究会は、主に日本株式に投資する機関投資家が会員となってネットワークを形成し、スチュワードシップ活動を行うための「実力」を備えるための研鑽の場を提供し、合わせて適切なスチュワードシップ活動を行うための環境整備に資することを目指しています。

具体的には以下のような活動を行ってまいります。

- ① 機関投資家の情報交換・意見交換・情報共有の場の設定
- ② 外部講師等によるセミナー、研究会等の開催
- ③ 共同による企業等との対話の場の設定
- ④ 関係諸機関への提案・提言や意見発信等
- ⑤ 社会への情報発信、スチュワードシップ活動に関する理解の促進

□当研究会についてのお問合せや会員のお申し込みは、info@stewardship.or.jp にご連絡ください。

□代表理事の経歴

木村祐基（きむら ゆうき）

一橋大学商学部卒業。野村総合研究所企業調査部にて証券アナリスト業務に従事。同社エマージング企業調査部長、野村アセットマネジメント（株）企業調査部長兼経済調査部長、参事コーポレートガバナンス担当、企業年金連合会年金運用部コーポレートガバナンス担当部長、金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て、2014年10月から現職。